

【ドイツ語学専攻受験を希望する諸君へ】

基本文献リスト

大学院に進学を希望する学生が読んでおいたほうが良いと思われる基本文献をリストアップしました。大学院で専門研究を志す学生は、下記の各専門分野の中から自分の関心に近いテーマの基本文献をできるだけ読んで、基礎力を養っておくことをお勧めします。

(注意) 書式に関して：各専門分野の方式（各先生）によって違いがあるため不統一です。皆さんが論文を執筆する際は、各分野の書き方に従って統一してください。また順不同に並んでいます。

【政治・経済・歴史・社会】

- ゲアハルト・リッター、木谷勤他訳『社会国家』晃洋書房、1993年。
 近藤正基『現代ドイツ福祉国家の政治経済学』ミネルヴァ書房、2009年。
 三島憲一『現代ドイツ—統一後の知的軌跡』（岩波新書994）岩波書店、2006年。
 内藤正典『ヨーロッパとイスラーム—共生は可能か—』（岩波新書905）岩波書店、2004年。
 イアン・ブルマ、石井信平訳『戦争の記憶—日本人とドイツ人—』TBSブリタニカ、1994年。
 望田幸男（編著）『近代日本とドイツ—比較と関係の歴史学—』ミネルヴァ書房、2007年。
 矢野久／アンゼルク・ファウスト（編）『ドイツ社会史』有斐閣、2001年。
 伊藤定良『ドイツの長い19世紀—ドイツ人・ポーランド人・ユダヤ人—』青木書店、2002年。
 三島憲一『戦後ドイツ—その知的歴史—』（岩波新書158）岩波書店、1991年。
 大原まゆみ『ドイツの国民記念碑1813年—1913年—解放戦争からドイツ帝国の終焉まで—』世界美術双書、2003年。
 大西健夫（編）『ドイツの政治』早稲田大学出版部、1992年。
 大西健夫（編）『ドイツの経済』早稲田大学出版部、1992年。
 大西健夫（編）『ドイツの社会』早稲田大学出版部、1992年。
 高橋俊夫、大西健夫（編）『ドイツの企業』早稲田大学出版部、1997年。
 田村信一・原田哲史『ドイツ経済思想史』八千代出版、2009年。
 戸原四郎・加藤榮一・工藤章（編著）『ドイツ経済—統一後の10年』有斐閣、2003年。
 走尾正敬『現代のドイツ経済—「統一」からEU統合へ』東洋経済新報社、1997年。
 姫岡とし子『統一ドイツと女たち—家族・労働・ネットワーク』時事通信社、1992年。
 平野洋『伝説となった国・東ドイツ』現代書館、2002年。
 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社、2002年。
 松田雅央『人が主役のまちづくり』学芸出版社、2007年。
 森井裕一『現代ドイツの外交と政治』信山社、2008年。
 ハンス=カール・ルップ、深谷満男／山本淳訳『現代ドイツ政治史』彩流社、2002年。

【文学・文化・思想・芸術】

- 手塚富雄／神品芳夫：『増補 ドイツ文学案内』（岩波文庫 35-003-1）岩波書店、1993年。
- 藤本淳雄（他）：『ドイツ文学史』（第2版）東京大学出版会、1995年。
- 三谷研爾（編）：『ドイツ文化史への招待—芸術と社会の間』大阪大学出版会、2007年。
- G. フライターク（井口省吾訳）：『ドイツ社会文化史』名古屋大学出版会、1996年。
- 高階秀爾：『近代絵画史（上）（下）』（中公新書 385、386）中央公論社、1975年。
- 三宅理一：『ドイツ建築史（上）（下）』（相模選書）相模書房、1981年。
- ハインツ・シュラッファー『ドイツ文学の短い歴史』和泉雅人・安川晴基訳、同学社、2008年
- 廣野由美子『批評理論入門 「フランケンシュタイン」解剖講義』中央公論新社（中公新書）、2005年
- ヨアヒム・ブームケ（平尾浩三ほか訳）：『中世の騎士文化』（白水社）1995年
- ヨーハン・ヨアヒム・ヴィンケルマン（沢柳大五郎訳）：『ギリシア芸術模倣論』（座右宝刊行会）1948年
- E. カッシーラー（中村啓ほか訳）：『理念と形姿 —ゲーテ・シラー・ヘルダーリン・クライスト—』（三修社）1978年
- マックス・フォン・ベーン（飯塚信雄訳）：『ドイツ十八世紀の文化と社会』（三修社）2001年
- ヴィンフリート・フロイント（深見茂監訳）：『ドイツ幻想文学の系譜 —ティークからシュトルムまで—』（彩流社）1997年
- 19世紀ドイツ文学研究会：『ドイツ近代小説の展開』（郁文堂）1988年
- E. ショースキー（安井琢磨訳）：『世紀末ウィーン —政治と文化』（岩波書店）1983年
- 『ドイツ表現主義』全5巻（河出書房新社）1971-72年
- H. グロイル（平井ほか訳）：『キャバレーの文化史』全2巻（ありな書房）1983/88年
- 岩淵達治：『反現実の演劇の理論』（河出書房新社）1972年
- 岩淵達治ほか：『ドイツ演劇・文学の万華鏡』（同学社）1997年
- ヤン・ベルクほか（山本尤ほか訳）：『ドイツ文学の社会史 — 1918年から現代まで』上・下巻（法政大学出版局）1989年
- 池田浩士：『ファシズムと文学』（白水社）1978年
- ロタール・ケーン（藤本ほか訳）：『文学と<20年代>』（ありな書房）1990年
- S. クラカウアー：（丸尾定訳）：『カリガリからヒトラーへ』（みすず書房）1995年
- 早崎守俊：『グルッペ四十七史 —ドイツ戦後文学史にかえて—』（同学社）1989年
- 三島憲一編訳：『戦後ドイツを生きて —知識人は語る—』（岩波書店）1994年
- 恒川隆男ほか：『文学にあらわれた現代ドイツ —東西ドイツの成立から再統一まで』（三修社）1997年
- 谷川道子：『ドイツ現代演劇の構図』（論創社）2005年
- Jochen Schulte-Sasse, Renate Werner: Einführung in die Literaturwissenschaft. Stuttgart (UTB) 9. Aufl. 1997
- Sabine Becker, u.a.: Grundkurs Literaturwissenschaft. Ditzingen (Reclam) 2006
- Deutsche Literatur in 16 Bänden. (Reclam) 1976
- Kurt Rothmann: Kleine Geschichte der deutschen Literatur. (Reclam) 2001
- Manfred Mai: Geschichte der deutschen Literatur. (Beltz & Gelberg) 2001
- Volker Bohn: Deutsche Literatur seit 1945. Frankfurt am Main (Suhrkamp) 1993

Ralf Schnell: Geschichte der deutschsprachigen Literatur seit 1945. Stuttgart (Metzler) 1993
Max Horkheimer/Theodor W. Adorno: Dialektik der Aufklärung. (Fischer) 1988
Jürgen Habermas: Theorie des kommunikativen Handelns. (Suhrkamp) 1995
Jürgen Habermas: Die Moderne, ein unvollendetes Projekt. (Reclam) 1992
Wilhelm Worringer: Abstraktion und Einfühlung. (Piper) 1992
Walter Benjamin: Das Kunstwerk im Zeitalter seiner technischen Reproduzierbarkeit. (Suhrkamp) 2010
Rolf Dammann: Der Musikbegriff im deutschen Barock, Laaber: Laaber-Verlag 1995
Walther Dürr: Das deutsche Sololied im 19. Jahrhundert. Untersuchungen zu Sprache und Musik.
Wilhelmshaven: Heinrichshofen 1984
Sabine Hake: German National Cinema. Second Edition. London/New York (Routledge) 2008

【言語学】

山下仁・野呂香代子（編）（2009）『「正しさ」への問い』東京：三元社。

鈴木孝夫（1996）『教養としての言語学』（岩波新書 460）岩波書店。

鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』（岩波新書 C-98）岩波書店。

Ammon, Ulrich (Hg.) (2004) *Die Deutsche Sprache in Japan. Verwendung und Studium*. München: Iudicium

Bourdieu, Pierre (1991) *Language and Symbolic Power*. Cambridge: Polity Press.

Blommaert, Jan (2010) *The Sociolinguistics of Globalization*. Cambridge: Cambridge University Press.

Peter Ernst (2004): *Deutsche Sprachgeschichte. Eine Einführung in die diachrone Sprachwissenschaft des Deutschen (Uni-Taschenbücher basics M)*.

Thomas Bein (2005): *Germanistische Mediävistik: Eine Einführung (Grundlagen der Germanistik, Erich Schmidt)*.

Girnth, Heiko (2002): *Sprache und Sprachverwendung in der Politik. Eine Einführung in die linguistische Analyse öffentlich-politischer Kommunikation*. Tübingen: Niemeyer.

Jarren, Otfried / Ulrich Sarcinelli / Ulrich Saxer (Hrsg.) (1998): *Politische Kommunikation in der demokratischen Gesellschaft. Ein Handbuch*. Opladen: Westdeutscher Verlag.

Rucht, Dieter / Roland Roth (Hrsg.) (2008): *Die Sozialen Bewegungen in Deutschland seit 1945. Ein Handbuch*. Frankfurt a.M./New York: Campus Verlag.

Snow, David / Sarah A. Soule / Hanspeter Kriesi (eds.) (2004): *Blackwell Companion to Social Movements*. Malden, MA and Oxford, UK: Blackwell Publishing.

Tognini-Bonelli, Elena (2001): *Corpus linguistics at work*. Amsterdam: Benjamins (Studies in corpus linguistics, 6).

Roche, Jörg (2008): *Fremdsprachenerwerb – Fremdsprachendidaktik, UTB basics, 16,90 E*

Huneke, Hans-Werner / Steinig, Wolfgang (2009): *Deutsch als Fremdsprache: Eine Einführung*, Erich Schmidt Verlag, 17,80 E
Edmondson, Willis / House, Juliane: (2006) *Einführung in die Sprachlehrforschung*
Uni-Taschenbücher S, 19,90 E

【外国語一般】

藤本一勇『外国語学』岩波書店，2009年